

深谷若者サポートステーションの開所式であつた。小島進深谷市長(深谷市深谷町で)

シヨンは、NPOワーカーズコープ(本部・東京都豊島区)が運営し、全国に約160カ所ある。厚生労働省から委託を受けて開設した。「一ト、ひき」も

りなど「働くための一歩が踏み出せない」若者の自立・就労支援が目的で、カウンセリングやセミナー、地元企業での就労体験などを通じて社会に出て行けるようにバックアップする。5月には熊谷サテライト(熊谷市筑波)も開設し、相談を受け付ける。

は「市としても協力していきたい」と話した。開所は午前9時半。

午後5時半。火・日・祝日は休み。問い合わせは同ステーション(048・577・4727)。【大平明日香】



若者の就労支援 深谷にサポートステーションは設置

県内2番目設置
若者の就労支援施設「深谷若者サポートステーション」の開所式が18日、深谷市深谷町

の七ツ梅酒造跡であつた。同施設の設置は、県内では川口市に続いて2カ所目。県北地域の七ツ梅酒造跡であるようにバックアップする。5月には熊谷サテライト(熊谷市筑波)も開設し、相談を受け付ける。

開所式には地元の行

政、商工関係者の約70人が出席。ワーカーズコープの藤田徹代表理事は「若者の生きる力に寄り添い、引き出すことを基本姿勢にしていきたい」とあいさつ

し、小島進・深谷市長(048・577・4727)。【大平明日香】

埼玉 中

saitama@mainichi.co.jp

さいたま支局